

平成29年度第1回小城市環境審議会 議事録概要

日 時 平成29年5月16日(火) 14:00~16:00

場 所 小城市役所西館 2階大会議室 A・B

出席委員 染谷会長、渡辺副会長、牧瀬委員、橋本委員、下村委員、森永委員、  
井澤委員、御厨委員、於保委員

事務局 市民部長、環境課長、環境副課長、廃棄物中継センター長、環境係長、廃棄物対  
策係長、施設係長

以下議事録

委員委嘱

今回1名の委員交代がありましたので、委嘱いたします。

前回までの修正

○全体

- ・○○等→○○など
- ・グラフの年号標記 平成○○年→H○○
- ・表や写真の紹介に▼をいれる
- ・成果指標は数値を丸める
- ・グラフの縦軸には単位を追加する
- ・「燃えるごみ」、「燃えないごみ」、「資源物」→「可燃物」、「不燃物」、「資源物」

○2ページ

- ・ページ右上学校給食食材→県内産の中に市内産は含まない

○9ページ

- ・基本目標「清くさわやかな生活環境の確保」に訂正。

○12ページ

- ・用語の解説→枠外に※をつけて表記
- ・ぼくたち、私たちにもできることの上から2番目→「お風呂のシャワーは出しっぱなしにしません」に変更

○14ページ

- ・右上写真の解説「不法投棄」→「不法投棄の現場」
- ・中央のグラフ→それぞれのごみについて総排出量、家庭系、事業系に分けた形で表記

○15ページ

- ・各主体の取組の「ポイ捨てや不法投棄をなくす」の行政の取組  
→「マナー向上等のPRに努めます」を追加

○16ページ

- ・中央「ぼくたち、わたしたちにもできること」のイラストの差し替え

○17ページ

- ・「環境保全行動の推進」→「地球環境保全行動の推進」
- ・「ARK（あるく）宣言」はロゴに合わせた色に変更

○18ページ

- ・CO<sub>2</sub>→CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）
- ・上「CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）1kgってどれくらい？」の枠内の順序の変更
- ・右下「佐賀県の部門別CO<sub>2</sub>排出内訳」の円グラフ数値をグラフの外に表記

○20ページ

- ・成果指標「エコアクション2.1取得事業所数」→「エコアクション2.1取得事業所数  
またはISO取得事業所数」
- ・小城市のCO<sub>2</sub>排出量（佐賀県のCO<sub>2</sub>排出量を小城市の人口で割り返したもの）を表  
記（数値については県に問合せ中）
- ・ぼくたち、私たちにもできること→「早寝、早起きするなど規則正しい生活をします」  
を追加
- ・ぼくたち、私たちにもできること「近くのときは送って、迎えに来てと言いません」  
→「ぼくたちも元気にあるく宣言！」

○21ページ

- ・中央「4R運動を实践する」 4R「リデュース」「リユース」「リサイクル」「リフュー  
ーズ」 を太文字で表記

○22ページ

- ・上段「資源物集団回収」「北部資源物回収所での資源物の収集」の写真へ差し替え

以上前回までの振り返り

会長：そろそろ最終的な製本をイメージしたものを作ってください。また 1 ページ目のキャラクターは小城市のキャラクターだと思うので説明書きをお願いします。

2 ページ目のグラフの学校給食の材料使用率は県内産に市内産が入っていない言うことなのでそのことも説明をいれてください。

委員：このデータはどのように出しているのですか？

事務局：学校教育課からの資料で 24, 25, 26 年度の 3 か年です。

またお配りした資料に献立表があり、その中に数量は記載されておりませんが材料ごとに小城産、佐賀県産といった形で表記がなされています。

会長：この使用率は重量比ですか。そうでしたらどこかのその記載をお願いします。コラム欄の予定はありますか？

事務局：地産地消の関連でマジェンバや藁の有効活用をされている方の談話などを予定しています。

委員：わらのすきこみが促進されるような文言にしてください。

会長；そのほかでは 14、18、21 ページのフォントや構成の調整と、20 ページのイラストの差し替えをお願いします。

また各所単位、配置等の統一を調整してください。

22 ページの食品ロスの説明ですが、「捨てられる食べ物」ではなく「食べ物を捨てること」ではないのでしょうか。

事務局：この部分は政府広報オンラインというホームページの表記をそのまま引用したものです。

会長：32 ページの子ども目標に土生遺跡公園まつりや書に親しむ日といったものが出てきますので、具体的に何月にあるかなどを書いてください。

それでは本日の審議事項ですが、基本目標の「歴史、文化と共生する快適な住環境の創造」と「環境を守り生かす地域づくりの推進」です。

基本目標の「歴史、文化と共生する快適な住環境の創造」の基本的施策として「歴

史、文化資源の保存、伝承、活用」の部分ですが、現状と課題として「文化財の管理」「歴史・文化資源とふれあう場の増進」「伝統芸能・創作芸能団体の育成」の3つについて書かれています。

26 ページには関連する写真等があります。

委員：私は特に伝統芸能が大切だと思います。伝統芸能を継承していくことが地域を保っている部分があるのかなと思います。

会長：次は歴史、文化資源の保存についての各主体の取組と成果指標になります。成果指標については指定、登録文化財の件数と案内板、説明版の設置件数、伝統芸能、創作芸能団体数をそれぞれ伸ばすとなっており、子ども目標は伝統行事に参加しますなどが書かれています。

コラムの予定はありますか。

事務局：コラムについては検討中です。

委員：文化資源でもある小城公園は市民の皆様のちょっとした気持ちひとつできれいになりました。そういったところを反映できるといいと思います。

会長：小城公園などは歴史と自然が調和した小城市の顔となる場所なので、そのようなところの環境保全にはぜひ取り組んでもらいたいです。市民の関心、興味あるいは子どもたちが小さいころから慣れ親しんだということなどが郷土を大切にする原動力になると思います。

27、28 ページについて、表の大きさなどはページに合わせて出来るだけ大きくした方がいいと思います。

次は基本的施策 4-2 「歴史的・文化的環境に関する意識の向上」についてです。何かありますでしょうか。

31 ページ 32 ページについて、取り組みの目標と成果指標が出ていますがその中にボランティアとあります。これはどこかに拠点があったり、公民館ごとに登録されていたり、歴史資料館等に入出入りしているボランティアの人がいるということですか？

事務局：ここでは市民学芸員という人を指しています。教育委員会で選定された方で、展示会などで解説される方や観光ボランティアの人のことです。

会長：ここも表の下に注釈をいれてください。

次は基本目標が変わって「環境を守り生かす地域づくりの推進」の基本的施策「地域での環境意識の醸成」になります。

文言が多いので少し減らしてください。ここでは現状と課題として「市内一斉清掃への参加促進」「多面的機能支払交付金事業の活用」「環境出前講座による啓発」が挙げられています。

委員：一斉清掃は形式化しつつあります。

また多面的機能支払交付金は取り組みがまだ足りない状況にあります。交付金もあるので活動団体を増やしてより取り組みが進めば環境もよくなるのではないかと思います。

会長：ご指摘のとおりだと思います。

35、36 ページは各主体の取組と成果指標ですが、多面的機能支払交付金の成果指標の38年度目標が「現状維持」となっていますので数値で出してください。

委員：多面的機能支払交付金は農業従事者以外も参加することになっています。

なので「各主体の取組」の市民の部分からもそのような記述は取ってください。

会長：ではその部分を「地域の歴史に由来する行事の伝承など文化の伝承に通じた地域コミュニティの強化に努めます」、「自然環境に配慮した地域づくりに努めます」としましょう。また35ページの「各主体の取組」の行政の取り組みを「事務処理などを含めた円滑な組織運営のための支援を強化します」としてください。

あわせて活動団体を増やせればという意見がありましたので検討をお願いします。

では次の施策に移ります。施策名5-2「協働による環境保全と環境教育」の「取り組みの方向性」は「環境保全団体などの育成」、「環境教育の充実」となっています。

委員：老人クラブで環境出前講座を開催したらどうでしょうか。参加者も多いと思います。

会長：ぜひ取り組んでください。次の成果指標の部分は集団回収実施団体数が抜けているので修正してください。

環境保全団体などが拠点として利用できるオフィスとして利用できるような場所というのは公民館とかになるのですか。

事務局：代表的なところは公民館で、あとはまちなか市民交流プラザなども該当するかと思います。

会長：行政の取り組みの中にそのような保全団体の交流の場を提供しますなどの文言も入れてください。  
それではよろしいでしょうか。

委員：多面的機能支払交付金の話に戻りますが、草刈や水路整備以外にも花を植えてフラワーロードや川の生き物調査など対象となる活動は多くありますので積極的に活用できるように呼びかけてほしいです。

会長：補助金の有効活用をして地域づくりということで、まさにそのとおりだと思います。  
では以降の審議については次回となります。

閉会